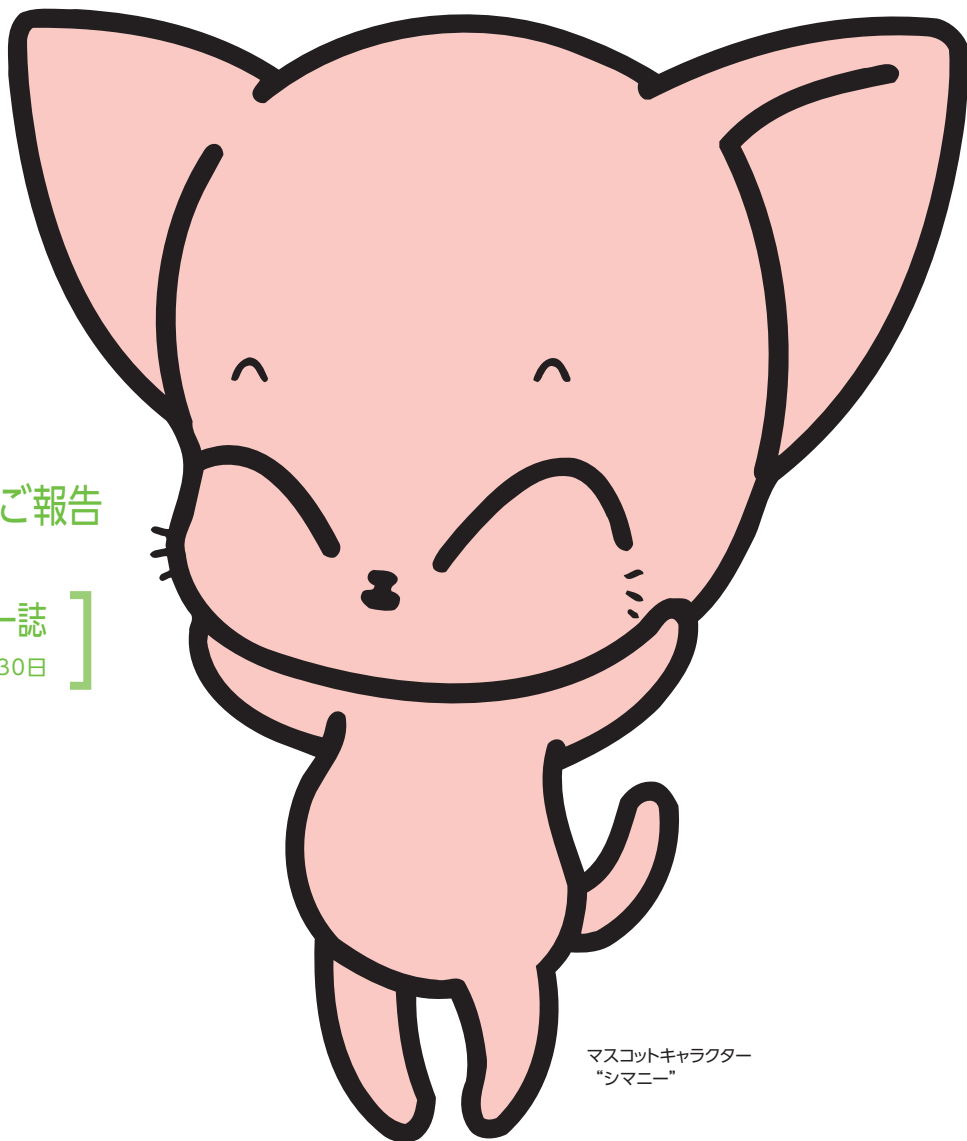


第164期 営業の中間ご報告

【 中間期ミニディスクロージャー誌
平成25年4月1日 ▶ 平成25年9月30日 】



マスコットキャラクター
“シマニー”

ごあいさつ／目次



代表取締役頭取
田頭基典

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、当行の経営情報を、より分かりやすく皆さま方にお伝えするために、平成25年度中間期の概況や財務の状況などについてとりまとめたミニディスクロージャー誌を作成いたしましたのでご案内いたします。

さて、今年度から、中期経営計画「元気大集合」（計画期間：平成25年4月～平成28年3月）をスタートさせ、本計画に基づき、経営理念の下、経営ビジョンの実現を目指し、役職員一丸となって、掲げた施策の実践に取り組んでおります。

これからも地域に根ざした銀行として、当地域の経済を支えていくという重要な使命を全うする所存でございますので、引き続きご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

目次

ごあいさつ／目次	1
中期経営計画	2
業績ハイライト	3
CSRへの取り組み	6
中間連結財務諸表	11
中間単体財務諸表	12
島根銀行について	13
株主の皆さまへ	14

中期経営計画

中期経営計画「元気大集合」(平成25年4月～平成28年3月)

～ 創業100周年を機に、新たなるステージへ ～

中期経営計画は、創業100周年を機に、みんなの元気を結集し、全員野球で、新たなるステージへステップアップしようという気持ちを込めて、「元気大集合」とします。「元気大集合」では、前中期経営計画「躍進の2年」の経営戦略である「営業の強化」、「財務の強化」、「人材の強化」、「組織の強化」の4本柱をブラッシュアップした取組みにより、経営理念の下、経営ビジョンの実現を目指します。

営業の強化

- ① 営業エリア特性を活かした営業態勢の強化
- ② 中小企業及び個人に対する取引拡大
- ③ ハード・ソフト両面のチャネル強化
- ④ 地域密着ブランドイメージの向上

財務の強化

- ① コア資本の充実
- ② 信用コストの抑制
- ③ 有価証券の適正なポートフォリオ構築
- ④ 統合的リスク管理の高度化

人材の強化

- ① 営業能力の向上
- ② 適材適所への人事配置
- ③ 行員満足度の向上
- ④ コンプライアンス意識の醸成

組織の強化

- ① 内部管理態勢の充実
- ② 開示の一段の充実
- ③ 危機管理態勢の充実
- ④ 創業100周年記念事業の展開

経営理念

1. 地域社会の発展に貢献し、信頼され、愛される銀行となる。
2. 常に魅力あるサービスを提供し、お客さまのニーズに積極的に応える。
3. 創造力豊かで、活力にみちた、明るい人間集団をつくる。

経営ビジョン

～フェイス・トゥー・フェイスの精神の下、地域密着型金融をより一層強化し、
お客様の各種ニーズへのスピーディーな対応により、地域の活性化に寄与できる銀行～

中計計数目標

1 | コア業務純益 14億円

2 | 格付 BBB+

3 | コア資本比率 9%

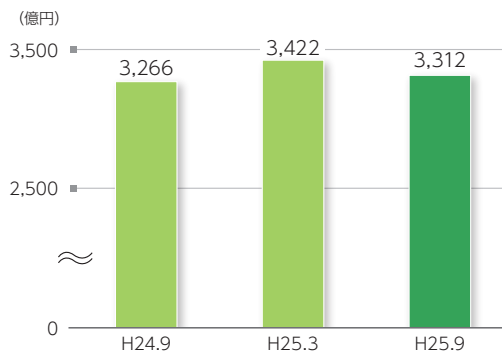
4 | 不良債権比率 4%

業績ハイライト

当行の平成25年度中間期の実績につきましては、様々な施策の実践に努めてまいりました結果、次のようになりました。

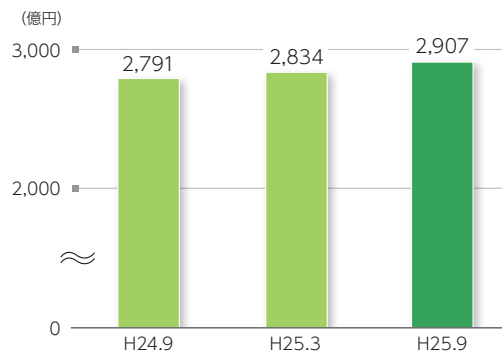
資産の状況

預 金



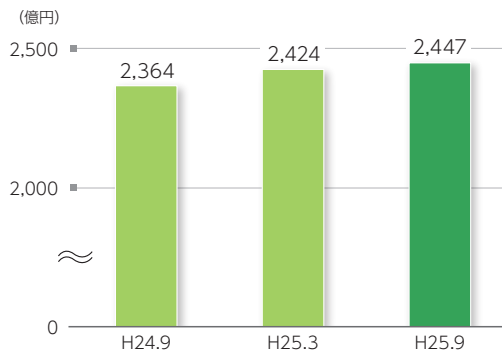
定期性預金を中心として個人預金が増加しましたが、公金預金が増加したことから、全体では期中110億円減少し、3,312億円となりました。

個人預り資産



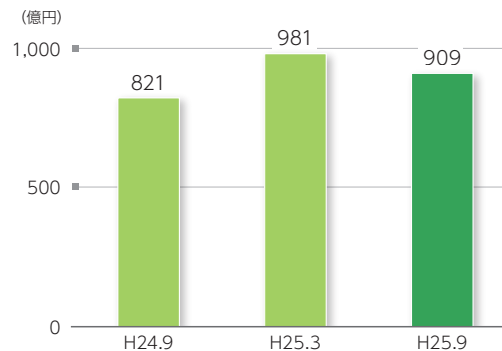
公共債が減少しましたが、個人預金や年金保険等が増加したことから、全体では期中73億円増加し2,907億円となりました。

貸 出 金



中小企業向け貸出や、地公体向け貸出が減少しましたが、住宅ローンを中心として個人向け貸出が増加したことなどから、全体では期中22億円増加し2,447億円となりました。

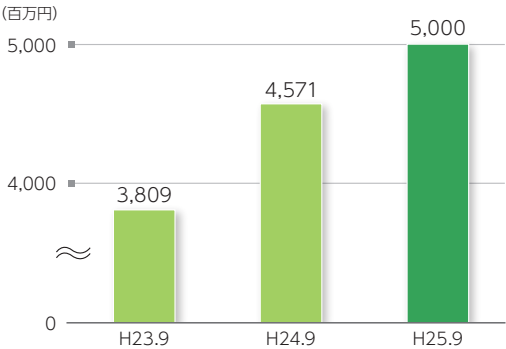
有価証券



市場動向に配慮し、効率的な運用に努めた結果、全体では期中71億円減少し909億円となりました。

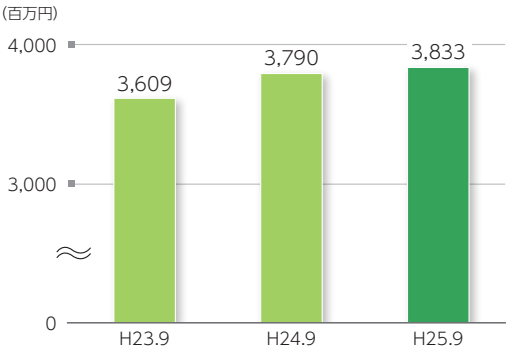
損益の状況

経常収益



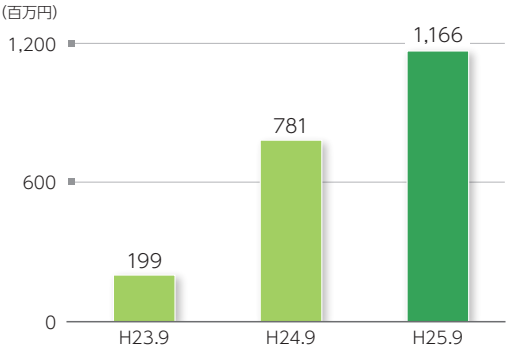
貸出金利回りの低下を主因として、貸出金利息が減少しましたが、有価証券関係収益が増加したことなどから、前年同期比428百万円増収の5,000百万円となりました。

経常費用



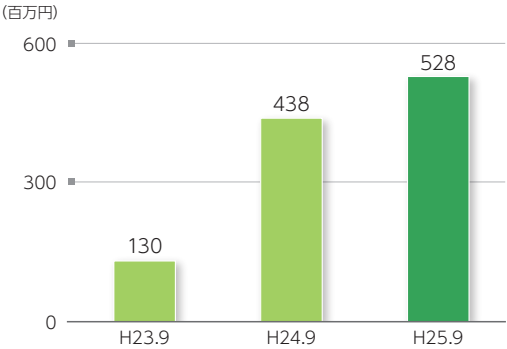
株式の減損処理費用や売却損が減少しましたが、与信関連費用が増加したことなどから、前年同期比42百万円増加し3,833百万円となりました。

経常利益



前年同期比385百万円増益の1,166百万円となりました。

中間純利益



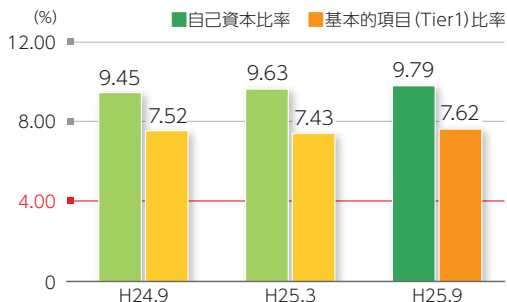
前年同期比89百万円増益の528百万円となりました。

業績ハイライト

健全経営の状況

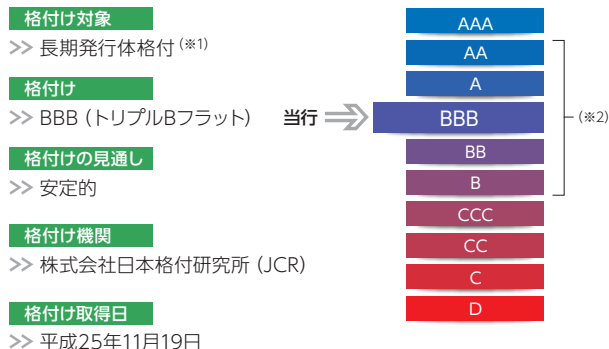
自己資本比率

自己資本比率は、銀行が保有する貸出金や有価証券等の資産に対し、資本金や引当金等の内部資金をどの程度保有しているかを見る指標であり、銀行の健全性を示す重要な指標です。



格付け

当行では、経営の透明性の確保に向けた積極的なディスクロージャーの一環として、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さまなどステークホルダーの皆さまに客観的な第三者機関からの評価を提供するため、株式会社日本格付研究所 (JCR) の長期発行体格付を取得しております。



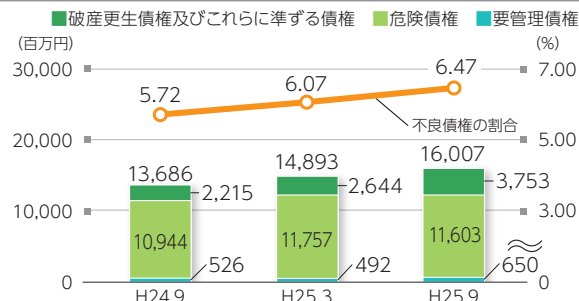
(※1) 長期発行体格付とは、債務者（発行体）の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を比較できるように等級をもって示すものです。

(※2) AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス (+) もしくはマイナス (-) の符号による区分があります。

不良債権の状況

金融再生法開示債権額の総額は、16,007百万円、不良債権の割合は6.47%となっております。

金融再生法開示債権額



株価の状況

当行株式は、平成23年3月15日の東京証券取引所市場第二部への上場からわずか1年で、同市場第一部銘柄に指定されております。

	平成23年4月～平成24年3月	平成24年4月～平成25年3月	平成25年4月～平成25年9月
終 値	1,198	1,310	1,290
最 高	1,320	1,429	1,380
最 低	771	970	1,190

(注) 終値及び最高・最低株価は、平成24年3月14日までは東京証券取引所市場第二部におけるものであり、平成24年3月15日からは東京証券取引所市場第一部におけるものです。

株価（終値）の推移



CSRへの取り組み

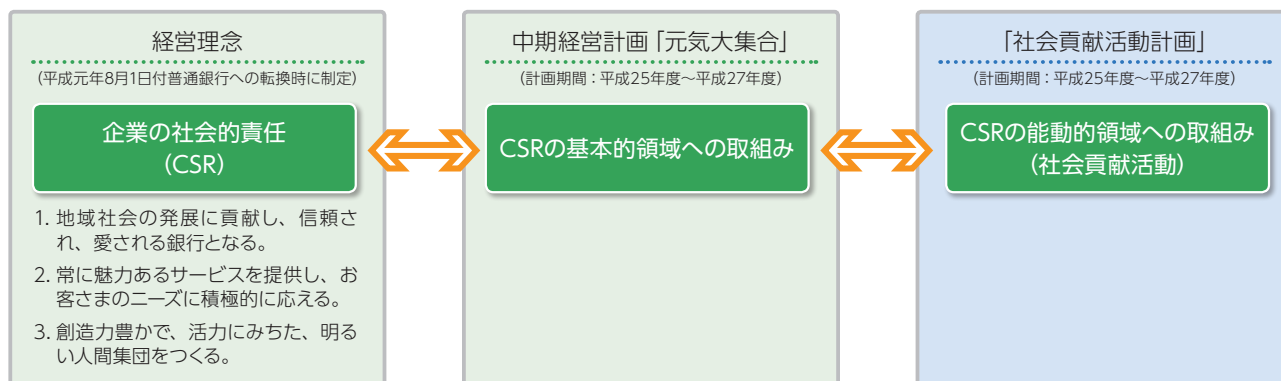
企業の社会的責任 (CSR) に対する当行の考え方

当行は、従来から企業の社会的責任（以下、「CSR」という。）の重要性を強く認識し、CSRへの取り組みを「経営理念」の一つとして掲げた上で、この具体的な取り組みを経営計画などで明確化し、実効性を確保しております。

その具体的な取り組みにおいては、CSRの基本的領域とも言うべき、経済的責任、遵法責任、倫理的責任を果たすべく、収益性・健全性の向上や内部管理態勢の強化などにに向けた取り組みを着実に実施するとともに、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さま、従業員などのステークホルダーの皆さまからの様々なご期待にお応えできるよう、地域貢献や地域環境の保全など、能動的領域の取り組みとも言うべき、社会貢献活動についても従来から積極的に推進しております。

また、取り組みにあたっては、ステークホルダーの皆さまとの繋がりが何よりも重要であると考え、法令等で開示が求められている事項はもちろんのこと、「しまぎん経営情報説明会」（山陰地区6カ所で年1回開催）やディスクロージャー誌（年2回発行）・ミニディスクロージャー誌（年4回発行）を通じて、社会貢献活動に関する情報を積極的に開示しております。

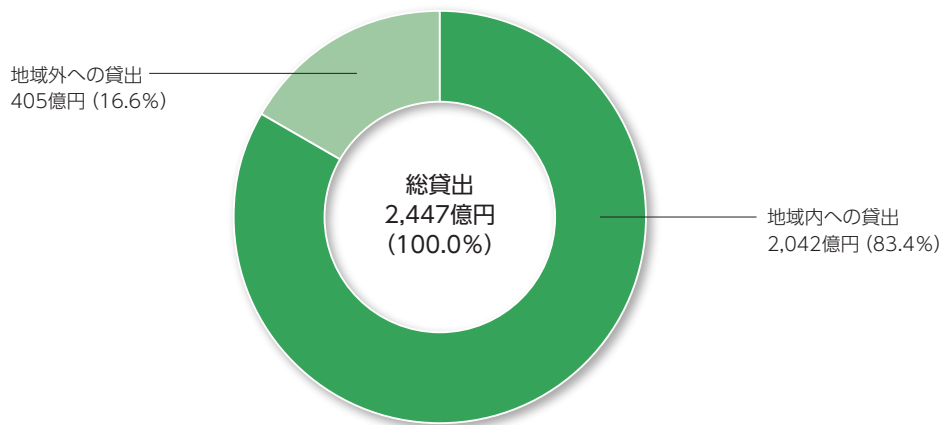
平成25年度～平成27年度においては4月より新たにスタートした、中期経営計画「元気大集合」（計画期間：平成25年4月～平成28年3月〈3年間〉）に加え、当行役職員の社会貢献活動に対する意識の更なる醸成に向けて策定した、「社会貢献活動計画」（計画期間：平成25年4月～平成28年3月〈3年間〉）に基づき様々な取り組みを実施することにより、企業価値の向上を図り、経営理念の具現化並びにCSRの全うを目指してまいります。



CSRへの取組み

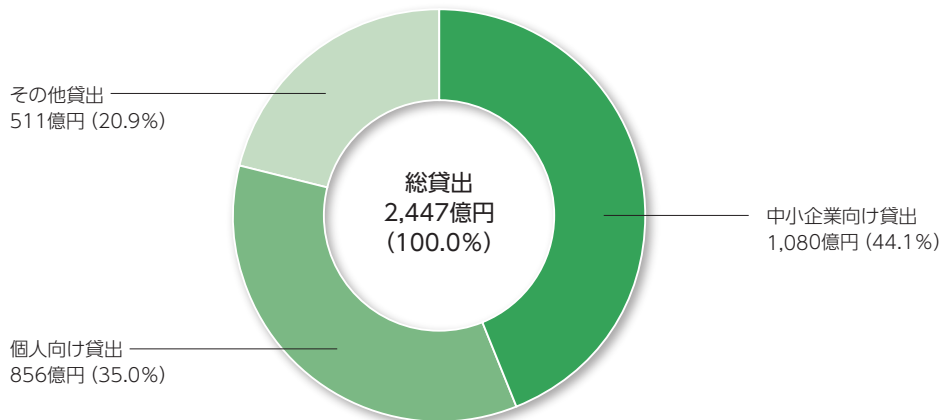
地域内における貸出状況 (平成25年9月30日)

地域のお客さまからお預かりした大切なご預金のほとんどを地域内の貸出に向けており、その残高は貸出金全体の83.4%を占めております。



中小企業や個人のお客さまへの貸出状況 (平成25年9月30日)

地域の中小企業や個人のお客さまへの貸出を積極的に行っており、その合計残高は貸出金全体の79.1% (うち、中小企業向け貸出44.1%、個人向け貸出35.0%) を占めております。(中小企業向け貸出は、地方公社を含む。)



社会貢献活動計画

当行役職員の社会貢献活動に対する意識の更なる醸成に向けて策定した「社会貢献活動計画」に基づき、その実践に努めてまいります。

■ 社会貢献活動の枠組み

当行における社会貢献活動の枠組みは、以下のとおりでございます。



CSRへの取り組み

地域振興への取り組み

■ 「しまぎん経営アカデミー」の開催

地域経済の将来を担う若手経営者の皆さまの育成支援を目的とし、平成18年度から、外部機関(株式会社タナベ経営)と連携し、「しまぎん経営アカデミー」を開催しております。

第8期を迎えた平成25年度は、平成25年9月27日を第1回目とし、以降平成26年2月まで毎月1回開催いたします。昨年度に引き続き、経営者としての基本的な考え方をテーマとしたセミナー4回のほか、ゲスト講演や優良企業視察を取り入れ内容の充実を図っており、今年度も様々な業種の皆さまにご参加いただいております。

【平成25年度の参加実績】

参加数(業種別参加数)
14社19名(建設業:5社6名、サービス業:3社5名、印刷業:1社2名、飲食業:2社3名、電気工事業:1社1名、卸売業1社1名、不動産業1社1名)



地域貢献への取り組み

■ 島根銀行杯松江家庭婦人バレーボール大会の開催

松江市に在住の女性の皆さまを対象に、昭和52年から、「島根銀行杯松江家庭婦人バレーボール大会」を主催しております。

平成25年度におきましては、8月に第37回大会を開催し、17チーム、およそ250名の皆さまにご参加いただきました。

このほかにも、地域貢献への取り組みとして、マラソン大会や卓球大会等スポーツイベントへの協賛や、地域行事、奉仕活動等への積極的な参加を行っております。



社会問題への取り組み

■ インターネットバンキングの不正利用防止

当行では、第三者によるインターネットバンキングの不正利用を防止する対策として、平成25年10月から個人向けインターネットバンキングサービスにおいて、メール通知パスワード^{*}を導入しました。お振込等を行う際は、従来から導入していますワンタイムパスワードと今回導入したメール通知パスワードのいずれかのご利用が必須となり、セキュリティがさらに向上しました。

なお、法人向けインターネットバンキングサービスについては、電子証明書のご利用をお薦めしておりますので、まだご利用でないお客さまは是非ご利用下さい。

^{*}メール通知パスワードとは

あらかじめご登録いただいたメールアドレス宛に通知する1回限りのパスワードです。お振込、民間企業あて各種料金払込、お客さま登録情報変更、トークンのご利用申込、メール通知パスワードのご利用登録を行う際、確認パスワードに加えてメール通知パスワードをご入力いただくことでお取引が可能となります。

環境問題への取組み

平成22年1月より展開されている地球温暖化対策推進国民運動「チャレンジ25キャンペーン」の趣旨に賛同し、このキャンペーンが推進する6つのチャレンジに取組んでおります。この取組みの一環として、「クールビズ」「ウォームビズ」の取組みや、環境省の呼びかけによる、 unnecessary 照明の消灯、早期退行などによりライトダウンを実施する「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」等の取組みを行っております。



お客さま利便性向上への取組み

■ ATMの利便性向上

当行では、お客さまが当行ATMをより一層便利にご利用いただけるよう、従来より、提携ATMの拡充などに取組んでおります。

今年度は、平成25年7月に、しまぎんピスカやしまぎんインターネット普通預金のキャッシュカードをご利用の皆さまの平日日中のお引出し手数料が無料となるATMに、従来の当行及びゆうちょ銀行ATMに加え、鳥取銀行や島根中央信用金庫などの提携ATMを追加いたしました。

また、平成25年11月には、イーネット及びセブン銀行（以下、「コンビニATM」という。）と新たに提携を開始し、これにより、当行キャッシュカードをご利用の全ての皆さまが平日日中に、また、しまぎんピスカやしまぎんインターネット普通預金のキャッシュカードをご利用の皆さまが平日夜間や土日祝日等に、手数料無料でお引出しできるATMが増加し山陰地区で800ヶ所以上となりました。

加えて、利用時間についても、上記に併せ、平成25年7月に当行の全店舗内ATMの利用時間を平日21：00までに統一するとともに、コンビニATMの利用時間を平日23：00までといたしました。

なお、当行及び提携ATMについては、平成25年11月に無料提供を開始したスマホアプリ「しまぎんATMナビ」等で簡単にお近くのATMが検索できますので、是非ご利用下さい。

■ 当行ATM及び提携ATMのお引出し手数料

		0:00	8:00	8:45	9:00		18:00	19:00	23:00	24:00
平日	通常の キャッシュカード	取扱い なし	105円	無料			105円			取扱い なし
	ピスカ/ しまぎんインターネット 普通預金の キャッシュカード	取扱い なし	無料						取扱い なし	
土日 祝日	通常の キャッシュカード	取扱いなし		105円			取扱いなし			
	ピスカ/ しまぎんインターネット 普通預金の キャッシュカード	取扱いなし		無料			取扱いなし			

消費税等含む

消費税等含む

※ご利用可能時間は、個々のATMによって異なりますので、ご注意ください。

※一部ATMでは、ご利用時点では有料となりますが、毎月のご利用手数料を翌月5日（休日の場合は、翌営業日）に、ご利用口座へ入金でキャッシュバック（手数料実費無料）させていただきます。

職場環境整備への取組み

仕事と家庭の調和や自己啓発のための時間を創出するため、行内に「定時退行推進宣言」を発し、計画的かつ効率的な業務を行い、退行時間（店じまい）を原則18時とする、これまで以上に行員の時間管理・時短意識を徹底させる取組みを進めております。

また、女性行員については、役席への積極的な登用や、預金業務だけでなく、営業担当や融資担当への配置など、幅広い任用を行っております。

さらに、長期育成プランを策定し、入行時から管理者クラスに至るまでの各年代において求められる成長モデルや習得レベル、担当職務の最低滞留期間（キャリア・パス）を統合的に示すとともに、行員のライフスタイルや業務経験に見合った新たな進路選択制度を導入し、長く安心して勤務できる環境づくりを進めております。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)
資産の部	
現金預け金	9,861
コールローン及び買入手形	12,800
有価証券	90,516
貸出金	243,765
外国為替	6
リース債権及びリース投資資産	3,329
その他資産	1,425
有形固定資産	5,372
無形固定資産	337
繰延税金資産	80
支払承認見返	7,401
貸倒引当金	△ 5,112
資産の部合計	369,783
負債の部	
預金	330,809
借用金	9,546
社債	1,780
その他負債	1,844
退職給付引当金	237
役員退職慰労引当金	232
睡眠預金払戻損失引当金	16
偶発損失引当金	56
繰延税金負債	166
再評価に係る繰延税金負債	665
支払承認	7,401
負債の部合計	352,756
純資産の部	
資本金	6,636
資本剰余金	472
利益剰余金	6,387
自己株式	△ 42
株主資本合計	13,453
その他有価証券評価差額金	2,455
土地再評価差額金	1,099
その他の包括利益累計額合計	3,555
少数株主持分	17
純資産の部合計	17,027
負債及び純資産の部合計	369,783

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間連結会計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
経常収益	6,057
経常費用	4,906
経常利益	1,150
税金等調整前中間純利益	1,150
法人税、住民税及び事業税	580
法人税等調整額	53
法人税等合計	634
少数株主損益調整前中間純利益	516
少数株主損失 (△)	△ 0
中間純利益	516

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間単体財務諸表

第164期中 中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間会計期間末 (平成25年9月30日現在)
資産の部	
現金預け金	9,446
コールローン	12,800
有価証券	90,975
貸出金	244,707
外国為替	6
その他資産	624
有形固定資産	5,228
無形固定資産	298
支払承諾見返	7,401
貸倒引当金	△ 4,882
資産の部合計	366,607
負債の部	
預金	331,202
借入金	7,228
社債	1,500
その他負債	1,608
退職給付引当金	237
役員退職慰労引当金	230
睡眠預金払戻損失引当金	16
偶発損失引当金	56
繰延税金負債	166
再評価に係る繰延税金負債	665
支払承諾	7,401
負債の部合計	350,313
純資産の部	
資本金	6,636
資本剰余金	472
利益剰余金	5,671
自己株式	△ 42
株主資本合計	12,737
その他有価証券評価差額金	2,455
土地再評価差額金	1,099
評価・換算差額等合計	3,555
純資産の部合計	16,293
負債及び純資産の部合計	366,607

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第164期中 中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間会計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
経常収益	5,000
経常費用	3,833
経常利益	1,166
税引前中間純利益	1,166
法人税、住民税及び事業税	578
法人税等調整額	59
法人税等合計	638
中間純利益	528

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

島根銀行について

会社概要 (平成25年9月30日現在)

創業年月日 …… 大正4年5月20日

本店所在地 …… 島根県松江市東本町二丁目35番地

URL …… <http://www.shimagin.co.jp>

資本金 …… 66億36百万円

店舗数 …… 34店 (島根県25店、鳥取県9店)

従業員数 …… 451名

預金残高 …… 3,312億円

貸出金残高 …… 2,447億円



島根銀行 本店

役員一覧 (平成25年9月30日現在)

取締役頭取 (代表取締役)	田 頭 基 典
常務取締役	野 田 哲 也
常務取締役	山 根 良 夫
常務取締役	鈴 木 良 夫
常務取締役	小 谷 栄
取締役 (人事財務グループ部長)	青 山 泰 之
取締役 (市場営業グループ部長)	若 槻 明 彦
常勤監査役	濱 田 寛
監 査 役 (社外)	周 藤 滋
監 査 役 (社外)	石 原 明 男
監 査 役 (社外)	岡 崎 勝 彦

関係会社 (平成25年9月30日現在)

○ 松江リース(株)

当行の子会社であり、リース業務を行っております。

住所 …… 島根県松江市西津田一丁目5番18号

設立年月日 …… 昭和56年4月25日

○ しまぎんユーシーカード(株)

当行の関連会社であり、クレジットカード業務を行っております。

住所 …… 島根県松江市朝日町485番地8

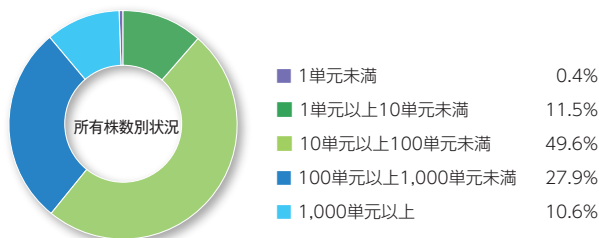
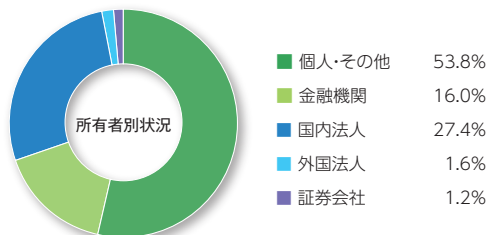
設立年月日 …… 平成9年10月22日

株主の皆さまへ

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数	18,600千株
発行済株式の総数	5,576千株
株主数	4,318名
議決権を有する株主数	3,601名

株式分布の状況 (平成25年9月30日現在)



株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月中
配当金受領株主確定日	期末配当金:3月31日 中間配当金:9月30日

株式事務取扱場所

株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店

同事務取扱場所

〒103- 0025
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店

郵便物送付先 お問合せ先

〒168- 8620
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
☎ 0120-707-843

公告掲載方法

電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
決算公告については、当行ホームページに掲載して行います。

ホームページアドレス

<http://www.shimagin.co.jp>

IRカレンダー

1月	第3四半期決算短信開示 … 中間期ディスクロージャー誌発行 12月期ミニディスクロージャー誌発行
2月	… 第3四半期報告書提出
5月	… 決算発表
6月	… 3月期ミニディスクロージャー誌発行 有価証券報告書提出



平成25年12月発行
株式会社島根銀行
島根県松江市東本町二丁目35番地
URL : <http://www.shimagin.co.jp>